

司法書士の楽しみ方
～人生のレールは他人が敷いてくれる～

司法書士 莊原 直輝

自己紹介①

【略歴】

広島県出身 1982年（昭和57年）生まれ

- 2005年（平成17年） 警視庁入庁（巡査拝命）
- 2006年（平成18年） 退職。司法書士試験を目指す（専業受験生）
- 2007年（平成19年） 名古屋市の司法書士事務所で補助者を始める
- 2008年（平成20年） 司法書士試験合格
司法書士登録（愛知県司法書士会）
- 2011年（平成23年） 茨城司法書士会に入会。茨城県牛久市で事務所開業
- 2021年（令和3年） 他事務所と合併。事務所をつくば市に移転

現在の事務所形態 司法書士3名・補助者6名

自己紹介②

◆全国青年司法書士協議会

全青司いばらき全国大会実行委員長
大会研修会委員会 委員長
人権擁護委員会 常任幹事
副会長（2期）
第48代会長
相談役（現在2期目）

◆茨城青年司法書士協議会

第41代会長

◆茨城司法書士会

司法書士の日記念事業実行委員会 委員長
市民権利擁護委員会 委員長
理事、常務理事（事業部長）
常務理事（現在、総務部長）

◆茨城司法書士会 土浦支部

理事（総務部長）

◆（公社）成年後見センター・リーガルサポート 茨城支部

副支部長（広報部長）

◆日本司法書士会連合会

日司連市民の権利擁護推進室

子どもの権利擁護部会 副部会長（現在、室委員）

◆関東ブロック司法書士会協議会

研修委員会（新人研修部会）委員

◆行政、裁判所

牛久市成年後見地域連携協議会 会長（現在、委員）

家事調停委員（水戸家裁土浦支部）

◆その他

NPO法人ウィーズ 監事（支援員兼任）

ひとり親家庭サポート団体全国協議会 理事

一応、事務所仕事もしています

- 合併した相方は土田七百人会員（茨城青司協元会長）
→ 決済業務が中心的
- 成年後見業務（現在 4 件）
- 財産管理業務（不在者財産管理人、相続財産清算人、遺産承継業務、不動産の任意売却及び精算業務）
- 裁判所提出書類作成（相続、離婚等）
- 簡裁訴訟代理関係業務

一応、こんな業務も経験してます

- ▶ 養育費未払い事件（債権執行、請求調停申立等）
- ▶ 簡裁訴訟代理（貸金、未払い給与損害金等）
- ▶ 建物明渡請求訴訟 & 明渡執行
- ▶ 遺産分割調停
- ▶ 各種財産管理人や失踪宣告申立て
- ▶ 死亡危急時遺言の作成支援、確認 & 検認申立て～遺産承継業務
- ▶ インド人の相続登記 & 商業登記
- ▶ 株式会社のM & A支援（簡易DD、株式譲渡、商業登記、調印決済）
などなど

子どもの頃～司法書士直前は何してた？

- ▶ 小学生・・・親の転勤で広島から相模原へ。**いじめ**にあう
小3で広島に戻る。友達もでき、特技は縄跳び。
- ▶ 中学生・・・中学受験は釣りに夢中で全落ち。ソフトテニス部。
中2で**生徒会副会長**になったのが転機。
- ▶ 高校生・・・地元の私立男子校。ひとり親を逆手に勉強しまくり。
生徒会 & **高校生平和ゼミナールの活動 & 警察マニア**
- ▶ 大学生・・・一橋大学法学部。テニスサークルで**バイク好き**。
踊る大捜査線マニア→結局就活せずに警視庁に就職
- ▶ 警察官・・・初任科は**教場長 & 総代**
麴町警察署でマラソン特練の日々。**なってみての違和感**

突然ですが、質問です

Q 1、皆さんは、司法書士が好きですか？嫌いですか？

Q 2、司法書士である自分が好きですか？嫌いですか？

Q 3、「司法書士」に満足していますか？不満がありますか？

司法書士って、何者？

- ◆ 生業のひとつ。稼げる資格？
- ◆ 性別、年齢関係なくライスステージに応じた働き方
- ◆ 社会的信頼、地域の頼れる存在
- ◆ **法律家？法律実務家？代書屋？**
使命規定があるから法律家？
- ◆ 法制度の担い手、作り手？

【法律家とは】

★住吉博 中央大学名誉教授

「新しい日本の法律家～弁護士と司法書士～」

法律家とは、社会に現れる法律事務の需要に、専門職業として応接する存在。

日本の法律家は「法曹」によって占められている。（国家機関を構成する検察官や裁判官を法律家に包含する傾向もある）、一方で、日本に必要な法律家は「法曹」の形をもって提供されれば足りるとする考えは誤りである。弁護士以外にも法律家に該当する職業は明治期以来、日本には存在していた。**「司法書士」もまた日本の法律家の一類型である。**

★山野目章夫 早稲田大学教授

司法書士は民衆の中から生まれ、民衆と共に生成された法律家である

【生成途中の法律家】

◆ **法律家とは**

高い職業倫理をもって、自らの利益のみを追求することなく、
国家や権力、組織から**独立して**、憲法的価値である**人権尊重**
(権利擁護) を実践する者 (by 伊藤真氏)

◆ **生成途中の法律家**

法律家としては不完全な制度的制約

訴訟代理権の制限は弱点か？

→本人訴訟支援の可能性。市民の主体的な司法参加へ。

様々な社会問題に対して果敢に取組み、市民の信頼を得て
その役割や権限を変容させてきた。

制度は後からついてくる（実績の法律家）

1980年代～ クレサラ問題への対応

高金利、過剰融資、過酷な取立て…

司法書士も弁護士と一緒に**個別事件の解決**に取り組む

全青司や青年会による全国各地での相談活動

司法書士事務局型の被害者の会etc。**当事者、市民団体と協働**

→地方議会の請願活動、国会前デモ活動等の**法改正運動**

1991年 ～ 裁判ウォッチング運動

1995年 ～ **阪神淡路大震災での市民救援活動**

1998年 ～ 巡回法律相談事業やゼロワンマップ

2002年 **司法書士法一部改正（簡裁代理権付与）**

2006年 **出資法、貸金業法の一部改正**

2020年 **司法書士法一部改正（使命規定の創設等）**

全国青年司法書士協議会（全青司）



▶ 会員数 2,303人（2023年1月1日現在）
（4月1日現在の全司法書士数23,059人）

▶ 役員 39名 幹事 246名

▶ 全国青年会数 47単位会

▶ 創立1970年（昭和45年）



全青司の活動

会則（全青司）

第二条 法律家職能としての使命を自覚する青年司法書士の緊密な連携を図り、市民の権利擁護および法制度の発展に努め、もって社会正義の実現に寄与することを目的とする。

（事業の一部）

- ・ 全国一斉養育費相談会
- ・ 全国一斉生活保護相談会
- ・ 司法過疎地での巡回法律相談会
- ・ 年末年始労働、困りごとLINE相談会
- ・ 全国大会、全国研修会の開催
- ・ 各種パブコメ、意見書、会長声明の発出や法律、制度の研究
- ・ 常設電話相談（ホットライン、生活保護、養育費、労働）



全青司に関わるきっかけ

- ▶ 全青司いばらき全国大会（平成29年3月）
- ▶ 主管決定の平成27年、茨城青司協の理事3年目
→ ひよんなことで**実行委員長**に就任
- ▶ 毎月の役員会や代表者会議で発表。手探りの中で全国の猛者と議論
→ テーマ「**志動**」に。「社会問題に取り組む一歩を踏み出そう！」
- ▶ **企画検討で、全国各地の志動している司法書士と出会う（大会資料）**
- ▶ **実行委員の仲間**とゼロから作り上げた貴重な経験。
→ 登録者数460名。事業規模1200万円。

いばらき全国大会での2つの出会い①

①古橋清二司法書士（静岡県会）令和4年逝去

多重債務問題に黎明期から取り組んだレジエント

『レジリエントに生きたい：余命宣告を受けた司法書士の生き様』

→「迷わなくても大丈夫。あなたの人生は他人が勝手にレールを曳いてくれる。真正面から受け止めれば、きっと周りの景色が変わってくるはず」

いばらき全国大会での2つの出会い②

①森田みさ司法書士（宮城県会）

- ▶ 児童養護施設退所後や、親の援助を受けられない子ども達の自立支援活動に取り組む（自立援助ホームやシェアハウス等）

NPO法人ほっぷすてっぷ理事長

- ▶ 宮城県司法書士会 前会長
- ▶ いばらき全国大会 第2部講師

→「取り組むべきだからでない。目の前にある現実には違和感をもつ。
だから自然と動き出す」

全国大会後の導き

- ▶ 森田みさ司法書士の誘いで、**日司連子どもの権利擁護部会の室委員**にとりたてて活動していたわけでないが、「まあ断れないよね」

<子どもの権利擁護部会>

- ▶ 平成29年に入った当時、部会は無戸籍問題に取り組み新人なのに、いきなり無戸籍当事者のインタビュー役（無茶ぶり）
- ▶ 同じ年、**当時の小澤吉徳室長**（現日司連会長）が、**養育費や面会交流等の離婚関係事件への取組促進**を掲げ、調査研究することに。
→ 「**そういえば、自分の親も離婚してたな。司法書士も関係するんだ...**」

離婚問題に取り組むように

- ▶ 平成31年～ 養育費相談会の**講師**（実務経験はなくても）
- ▶ 令和2年 養育費**初受任**（第三者からの情報取得&債権執行）
 - 差し押さえに成功。依頼者からの感謝の手紙
 - 実感として「**司法書士**」と「**離婚関係業務**」が**つながった**
 - 司法書士業務としての取組促進策に力を注ぐように
- ▶ **養育費、面会交流常設相談のモデル会事業**（令和2年～）
 - 神奈川県会、茨城会、群馬会、長野県会、岡山県会の5会で常設化
- ▶ 令和6年～ **家事調停委員**（水戸家裁土浦支部）

親子交流支援団体の支援員として

- ▶ NPO法人ウィーズの支援員に
家庭環境に悩む子ども達の支援活動をしている団体
平成30年、小澤会長とヒアリング調査に
→**まずはやってみないと分からない**（支援員研修を受講）
- ▶ **親子交流の連絡調整、受け渡し、付き添い支援**
- ▶ **交流中のフラッシュバック**
支援をする中で、自分の過去（**高1で親が離婚**）と向き合う
自身も周囲の支えを受けて、親の離婚を乗り越えてきた。

どうして全青司会長になったの？

- ▶ アフターコロナ。全国の青司協を元気にしたい
- ▶ 全国的に、強い訴求力をもって、社会問題に取り組める
- ▶ 茨城青司協の抜群のチーム力
- ▶ 養育費等の離婚問題への取組み = 会長としての説得力

2023年度活動テーマ

「志動 ～使命の実践を、仲間と共に～」

ぶっちゃん全青司会長って大変？

- ▶ 自分の名前で社会に発信する**重圧**
 - ▶ 「**熱い議論**」の表と裏
 - ▶ **インボイス反対**運動（青法協、全国青税、全青司）
 - ▶ 青年司法書士フォーラムのてこ入れ
 - ▶ 「**言うべきことは言う**」覚悟と責任
 - ▶ 令和6年**能登半島地震**の発生
 - ▶ 全国大会と定時総会**の一日開催**
- （会長退任後）
- ▶ **離婚後共同親権を含む民法改正に対するロビー活動**

司法書士人生を楽しむために

- ▶ 青司協は原点であり未来
- ▶ 全青司には全国の猛者が集う
- ▶ 出会いを大切に。考える前にまず飛び込んでみる
- ▶ 面白いと思ったら、とことん勉強する、人に話す、議論する
- ▶ 司法書士人生のルールが見えてくる

ご静聴、ありがとうございました。

司法書士 莊原 直輝